

お風呂設備の更新計画および試算

2019/ 9/26

既設ナショナル電気温水器（タンク容量：460ℓ）のメーカーメンテ費用実績

2015/ 3月 19,800円（出張費、交換部品代、修理費）

2016/ 2月 20,628円（同上）

2019/ 4月 3,780円（出張費のみ）・・・電磁弁の水漏れだったが、交換部品がないため修理を諦め、自前で保守した。（結果、ほぼ水漏れは止まっている）

メンテ生涯費用合計＝**44,208円**

2002年設置以来のメンテ費用としては、自己点検保守に努めた成果、よく頑張ってくれた機材だった。

既設と同等の電気温水器更新見積（但しタンク容量は370ℓ機にダウン、フルオート式）

本体及び工事費共で Pana 見積 609,000円（税：8%時）解体含む。今時は電気温水器の方が高い。

エコキュートに更新の場合（タンク容量は370ℓ機、フルオート式）

本体及び工事費共で Pana 見積 518,000円（税：8%時）解体含む

わが家の深夜電力費実績（200v）

1年前の1年間 月平均 5,900円 2人生活 外の温泉を頻繁に利用

直近同居時の平均 月平均 6,700円 3人生活

電気温水器を更新した時の電気代 6,700円×12か月＝80,400円

よって、今後10年間の電気温水器電気代＝**804,000円**

エコキュートの電気代 東京都@1,820×12か月＝21,840円

ダイキンの試算 @1,320×12か月＝15,800円

約 20,000円/年として、今後10年間の電気代＝**200,000円**

両システムの差額＝**約60,000円/年**

10年で約600,000円の節約・・・貯金して置けば10年後更新の費用が出る。

但し、メンテ費用を電気温水器の2倍程度とみて10万円/10年間を計上すると、

実質10年間で50万円の節約が見込める。

以上